

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日4月19日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、4月26日（火曜日）からです。



『図書館「超」活用術』

奥野 宣之／著、朝日新聞出版／刊、請求記号：015/O,56

内容：集中力、発想力、思考力、教養力を得るための全てが図書館にあった！司書資格ももつ著者が、図書館の活用法や、あまり知られていない図書館の仕組みやサービス、使える図書館を探すための7つのチェックポイントを紹介する。

著者紹介：1981年大阪府生まれ。同志社大学文学部社会学科でジャーナリズム専攻。出版社、新聞社勤務を経てフリーの作家・ライター。司書資格取得。著書に「情報は1冊のノートにまとめなさい」他。：

『春が来るたび思うこと』

パンプキン編集部／著、潮出版社／刊、請求記号：369.3/H,34

内容：2015年パンプキンエッセー大賞「2011.3.11-あの日の私」に寄せられた全作品から、大賞「春が来るたび思うこと」および各選考委員賞3作を含む100本を収録。内館牧子、鎌田實、出久根達郎による寄稿も掲載。

『おいしさの人類史』

ジョン・マッケイド／著、河出書房新社／刊、請求記号：491.3/My

内容：人類は「おいしい!」を獲得することで進化した。23種類の「苦み」「まずい」をめぐるダーウィンの研究、「甘み」の快樂…。味覚の起源から料理の発明、最先端科学による新たな「味わい」まで、味覚の歴史をたどる。

著者紹介：イェール大学出身。ジャーナリスト。『スミソニアン』誌、『ワシントン・ポスト』紙などに寄稿。地球規模の魚類供給危機の分析でピューリッツァー賞を受賞。

『地域×クリエイティブ×仕事』

服部 滋樹（ほか）／著、学芸出版社／刊、請求記号：601.1/H,44

内容：淡路はたらくカタチ研究島プロジェクトから生まれた、「地域ブランディングの教科書」。プロジェクト運営メンバー等が多角的な視点から、地域でクリエイティブな発想や方法を

使って仕事をつくりだすしくみを紹介する。

著者紹介：1970年大阪生まれ。graf代表。「淡路はたらくカタチ研究島」スーパーバイザー。

『日本おとぼけ絵画史』

金子 信久／著、講談社／刊、請求記号：721/ Ka,53

内容：見る者を煙に巻くような不可解な禅画、俗なものや卑近なおかしみを取り込む俳画、一般大衆のわかりやすい好みからほど遠い南画…。日本人の心を潤してきた「とぼけている」としか言いようのない絵画の歴史を紹介する。著者紹介：1962年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。府中市美術館学芸員。専門は江戸時代絵画史。著書に「旅する江戸絵画」「ねこと国芳」など。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp